



本市では、令和6年度から令和8年度の3年間、上田小学校区（上田小学校・上田こども園・あゆみ保育園・へいわだい認定こども園）を「架け橋プログラム」のモデル校区に指定し、保こ小の架け橋期における教育・保育の充実を図っています。本紙を通して、モデル校区での具体的な取組を市内各施設へご紹介していきます。

子どもを真ん中に置いた保こ小接続の取組

～上田小学校 公開授業および合同研修会を開催!!～

架け橋期モデル校区である上田小学校にて、公開授業および合同研修会を実施しました。子どもたちが主体的にいきいきと学ぶ姿が見られ、就学前施設と小学校の円滑な接続に向けた充実したひとときとなりました。

園×小がタッグを組んだ単元計画★

園での学び(遊び)と小学校での学び(教科等)を滑らかにつなぐ！

園と学校の先生方が真剣に話し合う様子★



●子どもの姿から学びの設計

園での実態や子どもの興味・関心を出発点にし、小学校での学びへとどのように滑らかにつないでいくかを多角的に議論しました。

●双方の視点を生かしたアプローチ

幼児期の「遊びを通じた総合的な指導」と、小学校の「教科等の特性に応じた指導」が心地よく結びつくよう、対話を重ねました。

「この時期の子どもなら、こんなアプローチで意欲が高まるのでは？」「園でのあの体験が、ここに生きてますね！」といった熱意あふれる意見が飛び交い、双方の強みを活かしたあたたかい単元計画が完成しました。



※ 2枚目に続く



公開授業の様子：子どもたちが自ら考え、生き生きと取り組む学びの姿が見られました!!



単元計画に基づき、子どもたちが自ら考え、周囲と関わりながら活き活きと取り組む姿が随所に見られました。就学前の学びの基盤がしっかりと小学校での探究力へとつながっていることが実感できる時間となりました。

合同研修会の様子：参観者から「子どもの姿」を基準とした熱い意見が交わされました。



授業見学後に行われた合同研修会では、参観した先生方から具体的な子どもの姿をベースにした活発なフィードバックや質問が寄せられました。単元計画の意図がどのように子どもの姿に現れていたかを全員で検証し、今後の架け橋期の教育のあり方について学びを深めました。

今後に向けて…

子ども一人ひとりの育ちと学びを切れ目なく支えるため、今後も園と学校が手を携え、「子どもが主役」の接続期教育を推進してまいります!!



通信は、豊見城市 HP に掲載しています。

豊見城市幼児教育センター

